

Fitness Industry Association

発行: 一般社団法人日本フィットネス産業協会
 TEL.03-5207-6107
 FAX.03-5207-6108
 E-mail. ftys@fia.or.jp
 http://www.fia.or.jp

NEWS

編集: (株)クラブビジネスジャパン
 フィットネスビジネス編集部
 TEL:03-5459-2841
 FAX.03-3770-8744
 E-mail.info@fitnessclub.jp
 http://www.fitnessclub.jp

Board Meeting

理事会報告

第156回理事会開催 今後のFIA各委員会の 活動内容、計画について討議

平成24年9月7日(金)、大塚製薬 潮騒荘(徳島)会議室にて第156回FIA理事会を開催した。田中会長、吉田・村井両副会長ら14名が参加し、各委員会の今後の活動内容・計画などについて議論した。

(1)新規入会および退会承認について

◆賛助会員

<入会>

・品川ハイネン株式会社(本社・金沢)

<退会>

・株式会社フェニックス

・株式会社構想建築設計研究所

以上の結果、平成24年9月7日現在のFIA会員状況は、正会員97社、賛助会員91社、計188社となっている。

(2)業務届報告事項について

プール監視業務と警備業に関する情報や『The Pulse』などの会員企業への配信、天井脱落防止対策説明会(国交省)の理事企業への案内、電力、料金値上げや圧縮と新エネルギー促進課金の説明のための東京電力の来訪などについてのほか、『SPORTEC2012』にてIHRSAよりM.Darby氏およびJ.Holsinger氏が来訪してセミナーを開催するとともに、FIA執行部と面談を希望していること、マスターズ大会やフィットネスホットラインなどの催事の開催予定などについて事務局より報告があった。報告事項のうち、主なトピック4つについて以下に示す。

①ダンスサミットについて

7月26日(木)、自民党山本拓衆議院議員より、『2012ダンスサミット in Japan』へFIAとして協賛いただきたい旨、依頼を受ける。金銭は不要だが、加盟クラブにダンスクラブへのメンバー参加を促してほしい旨、協力を求められた。本イベントに

関する詳しい内容は、下記のサイトを参照のこと。

HP: <http://www.dance-summit.com>

②国土交通省のパブリックコメント事業について

8月21日(火)に、国交省住宅局建築指導課より「吊り天井の脱落(落下)防止」と「エレベータの落下防止」について、予定している「建築基準法による規制強化」の概要説明と現在行われているパブリックコメント募集(国民からの意見聴取)の広報があり、FIAも参加。会員企業に広くコメントの提供を求めた。募集期日は9月15日まで。

～今回の規制強化の趣旨～

- 1.大震災による天井の脱落・エスカレータの落下が見られ、天井脱落に伴っては死者も確認されていることから建築時の構造規制強化により、これを防止する。
 - 2.既存建築物については、防災拠点など行政において必要とした施設などは早急な対策を指導する。ほかの場合は増築・改築の際には新基準適合が求められる。
- ※本件については、8月23日会員宛て配信の情報提供をご参照ください。

③医療連携プロセス標準のためのプロジェクトについて

本プロジェクトは、経産省による大規模調査研究事業のひとつとして行われているもの。

→ 8月23日(木)、医療・介護周辺サービス産業分野で新たな需要を創造するためのプロジェクトとしてFIAを含む関係者による第一回目の検討分科会が開かれた。

医療事業とサービス事業の連携における議題について挙げられた意見は以下の通り。

- ・「生活習慣病指導管理料」については、「許可病床数が200床未満の病院および診療所である保険医療機関において算定する」となっているが、あまりビジネスとして盛り上がっているという感じは見受けられない。今回のモデルのターゲットとする医療機関はどのあたりを狙っていくのか。
- ・モデルをつくっても、すべての主体が参画してくるわけではないと認識している。
- ・関係者と連携を構築しつつある所として、ある「整骨院」が

あるが、そういったところも今回の調査の対象となりうるのか。

・きちんとした指示書を出し、関係者との連携を構築している例はごくわずかである。きちんとできているところの話聞くだけでなく、「やっていないところと比べてどの部分が異なると認識しているか」、またやっていないところに対して「どうしてやらないのか」を聞かなければ、現状の課題を解決したモデルはつくりえないと認識している。

・資料内の「運動療法」という言葉は適当か。

→提供サービスをわかりやすく説明するために、医療機関の現状の認知状況に鑑みて、暫定的にこのような表現を使っているが、後で見直す必要があると認識している。

・事業者側からすると、あまりに内容をしっかりと記述された指示書が出されるとハードルが高くなる可能性も懸念される。

・指示書などは、事業所側で様式をつくってもよいと考える。医療側から許可印だけを得るくらいの簡便さが必要でないだろうか。

・保険医療内で運動指示書を出しているところもあるが、現行制度内で抱えるやりづらさを聞く方法が近道になるのではないか。

・メタボリックシンドローム該当者への保健指導が事例考察として活用できないだろうか。

・利用者(ターゲット)を決めると、連携先、モデル実現の実現可能性、事業規模などが決まってくるだろう。医療機関側と事業所側両方から連携に必要な手を出し合い、そこをまとめていくとうまくいくのではないか。

④「『敬老の日』にフィットネス！キャンペーン」について

毎年恒例の「『敬老の日』にフィットネス！キャンペーン」を今年も9月15日(土)～17日(月・祝)に開催。本協会加盟の全国1,350クラブに対して参加を呼びかけたところ、785クラブの参加が得られた。

＜過去の参加業績＞

平成23年：参加クラブ数765 参加者数19,961名

平成22年：参加クラブ数804 参加者数21,145名

平成21年：参加クラブ数792 参加者数28,908名

平成20年：参加クラブ数824 参加者数16,810名

(3)各委員会の活動状況の報告と今後の計画について

各委員会が討議して決めた内容は下記の通りであり、各委員会ともに2～3の意見が出たものの、ほぼこの方向性で進めていくことになった。

＜組織基盤拡充委員会＞

(1)今後の活動内容や方向性

●正会員について

・現行のFIA加盟店のメリットを整理・確認すること。そのためには、過去(この1年間)の活動および情報発信実績をまとめる。そしてその実績のなかから加盟店メリットを洗い出す。



・確認された「加盟店メリット」を整理し、現行正会員にも伝達する。

・現在FIAに加盟していない会社をリスト化し、「FIAに加盟すると、これだけのメリットあり」を伝えるDMを発送する。

・併せて、株式会社クラブビジネスジャパン(以下、クラブビジネス)にも協力いただき、「新規正会員募集」の広告を掲載する。

・DMおよびクラブビジネスの反応を確認し、反応のあった会社には営業を実施。



・上記メリットが新会員を獲得するのに十分でないと判断した場合はFIA加盟店に対する新たなメリットの創出が必要となる。

～新たなメリット案～

①FIA本部を各種情報発信および問い合わせ機能を有する組織として運営

a. 現場運営に困った際(設備・省エネ・法規etc)に、賛助会員のなかから最適な業者を紹介する(賛助会員にもメリットとなる)

b. 人材バンク登録を行い、講師の派遣斡旋やインストラクターの紹介を行う。

c. 電話でのお問い合わせ斡旋に加え、ホームページにて紹介機能を付加。

d. 小クラブ・個人クラブに対しての年会費を別途検討。

●賛助会員について

・正会員が集まる機会に、各賛助会員企業からのPR時間を順次設ける。

・上記案①aのように、FIA本部からの斡旋紹介も行う。

(2)今期の予定

・上記メリットの整理と確立、および非会員へのDMの発送を今期中に行いたい。

(3)その他

・会員共通課題の整理を行い、その対処方法を「事業委員会」と連動し研究する。

＜調査研究委員会＞

■調査研究の目的・主旨

FIA加盟会員を中心に、フィットネス運営企業に大いに役立つ、さらに業界全体の発展にもつながる調査研究を行う。

■調査研究テーマの選定

従来行ってきた調査の説明の後、各事項についての討議

1. 経年的に行ってきた「フィットネス産業基礎データ資料」(※2008年を最後に停止状態)
2. 「人事制度」など、フィットネス運営者に訊く個別テーマ
3. フィットネスクラブの価値がわかる生活者への調査(2007年「一般市民の健康・体力観とフィットネス活動に関する調査研究」など)

1. については、調査協クラブが少なく市場全体を見ることができず、実用的価値も低いものと考えられるため、これまでの形式のものは行わなくてもよいのではないかと考えた。これに代えて、毎年加盟各社に提出をお願いしている売上高、会員数などの簡単な基礎データをまとめ、全体の数字としたものを作成し、必要に応じて活用すればいいのではないかと考えた。また、経済産業省の動態統計や株式公開企業の決算説明会資料、業界誌発表調査などでも代替できるのではないかと考えた。

2. については、1. 以上に協力企業が少ないだろうこと、今期は日数的にも限りがあるため、来期以降の検討課題とすることにした。

3. が、最も実用的価値が高いものと思われることから、今期はこれに取り組むのがよいのではないかと考えた。調査研究費の予算もあり、この範囲で有効に活用できるのではないかと考えた。3. について、さらに具体的に考えた案を以下に掲載する。

- ①フィットネスクラブに対する意識調査
- ②フィットネスクラブに対する感動ストーリーの公募
- ③若年層、あるいはシニア層に対する余暇時間の消費に関する調査
- ④フィットネスに関するエビデンスの収集

このうち、①が最もFIAが行う調査研究の目的・主旨に合致し、実用的価値が高いのではないかと考えた。入会者、未入会者、退会者のそれぞれにネットリサーチ会社などを活用し、「なぜ入会しようと思ったのか?」「その期待はどのあたりまで実現できたのか?満足しているか?」「いずれも入会者への質問)、「なぜ、フィットネスクラブに入会しようと思わないのか?」「(未入会者への質問)、「なぜ退会したのか?」「再入会の意思は?」「(いずれも退会者への質問)などの質問を行い、結果を集計。それをフィットネスクラブの価値を正しく伝えられる有効な知見としてまとめ、FIAとして広くPRしたり、各社の集客活動などに活用いただこうと考えた。

■今後の進め方

理事会で報告～討議し、了解いただけたら、ネットリサーチ会社の担当者を招き、下記メンバーでまず基本的な質問項目を検討する会議をもち、その後大手各社を中心に数社から委員を派遣いただいて、さらにその内容を有用なものにすべく検討を加える会議をもつ予定。

<社会渉外委員会>

(1)行政関係事項

①東京都福祉保健局(浴槽水循環)

→当方の負担や窮状を訴えても通じない。毎日換水せずでも水質が保全されていることを証明し、付加的に省エネ観点を添えて説明する必要あり。

→理事各社施設担当者のご協力も得たが、水処理系賛助会員、行政OBのいる検査会社など、さらに専門家ブレーンが必要。

②同上(東京都健康づくり応援団)

→登録しているが具体的行事参加の実績はない。

→事業委員会連携を図る。

③経済産業省(日本再生戦略=健康・医療・福祉分野)大規模調査研究事業(※2ページ参照)

→継続的参画3年目。本年は医療分野との連携手法構築がテーマ。

ワーキングチームなどへの参加を経て、事業者ヒアリングなど、具体的要請があれば応じてゆく(日本規格協会・スポ団連コンソーシアム)。

④その他 プール監視と警備業(警察庁通達)、ダンスサミット(経済産業省経由依頼)など

→FIAの主体的な活動として処理しているものではなく、事務局業務として対応中。

(2)海外機関との連携・海外情報の収集

IHRSA契約の来年度処理(12月理事会に処理案提出～1月中旬に回答申し入れ)。

→①契約に反し、英語で提供されているThe Pulse翻訳のための費用約50万円を説明し、4千ドル(約35万円)の契約料改定を提案。

②豪州・インドなどの情報が中心のThe Pulseだが、米国の現状なども含んだニュースの提供など、我が国クラブが入手したい情報を付加してもらうことを提案。

(3)クラブ存在意識の社会的アピール・啓発活動

調査研究委員会計画にある利用者意識や利用効果のエビデンスなどの研究成果と連携する。

(4)情報公開(ホームページの充実・リニューアルなど)

FIA HPが旧態依然なのは事実だが、このリニューアルが誰のためかを考える必要がある。現在は一般からは「敬老の日」の利用やマスターズの申込のためのアクセスが、また事業関係者やマスコミからは関連情報入手のためのアクセスが主。

→FIAのホームページそのものが、各社の顧客誘導・入会促進のツールとなるのか? あるとすればこれからはHPでなくスマホなどのツールが主体になるのではないか。

→加盟各社・クラブのためのFIAであるならば、メンバーに向けて充実させるほうがよいのではないか。そのための改善範囲を考え、来年度に向けて予算化するのがよいのではないか。

(5) 他組織との連携案件

他団体主催イベントへの関わり方などを検討。FHL、SPORTEC、HFJなどの催事には、以下のように対応する。

1. 後援名義を出す
2. 分担する範囲のセミナーなどを提供する

<事業委員会>

(1) 今後の活動や方向性について検討

① 従来事業の継続検討

マスターズスイミング両大会・・・仕組みもあり参加者が楽しみにされているので事業継続、今後は陸上のイベントの検討も考えたい。

② 敬老の日にフィットネス・・・やり方を見直してもよいのではないか。若者向けの促進策のほうが必要ではないか。

③ 各地セミナー・・・各地域の連絡会などによる主催セミナーなどへの支援は継続。

④ FIAコンベンション、HFJ、SPORTEC、業際交流会など、セミナーの開催などについては、似たような事業の多発にもなるため、再検討したい。

⑤ そのほか、FIAならではの事業を検討していくべきではないかという意見もあり。

(2) そのほかの取り組みについて

委員長より、品質認証制度について取り組んでいる、にぎわい総研 田中副所長を紹介。田中氏よりフィットネスクラブの品質認証制度について、資料に基づき説明。

● 概要

・フィットネス業界の発展と人材育成、サービス向上のためにもフィットネスクラブの設備やサービス品質を評価し認証する制度の導入が必要ではないか。

・品質認証の導入で利用者への信頼性の向上や利便性の向上が高まる。

・観光品質認証などは世界90ヶ国で導入されている。

・全クラブの認証前提や、目標品質の設定(ISOなど)、格付け認証などいくつかの方法があるが、目標品質がふさわしいのではないか。

・有料クラブをFIAが認証して認証マークを発行するなどしてはどうか。

・旅館でのベースもあるので、約2年間で導入可能。コストも高額にせず行える。

● 上記に対する意見

・非常によい提案。こういうことを業界でやっていくべきである。

・コストがその程度なら可能なのではないか。

・ぜひ、引き続き内容を詰め、理事会に諮ってはどうか。

・進めるなら委員会事業というよりプロジェクトにしたほうがよいのではないか。

● まとめ

・おもしろい提案だと思うので、理事会にて説明し、引き続き委員会で検討していくことを承認してもらうことにしたい。

Information

お知らせ

■ 「FIAマスターズスイミングフェスティバル2012」開催

9月30日(日)京都アクアリーナにて同大会を開催しました。台風接近の中での開催となり、午後には一時雨の強い時間もありましたが、おかげさまで無事全日程を終えました。関西でのFIAマスターズも7回目を迎え、140チーム1,237名という参加者数も定着して来た感があります。

会場の「スタート台」が高さ・傾斜・後ろ足蹴り出しパネルなどが違う最新型で、従来と違う環境のなかでしたが、参加した皆さまの熱意が感じられる競技会となりました。ミズノ株式会社(特別協賛)ご協力のイベント「ジャストタイムスイム40秒コース」では大会初の40.0秒も出て盛大な拍手に包まれました。募集・準備・当日の競技役員など、ご協力いただいた各社各クラブの皆さまにお礼申し上げます。

■ フィットネスホットライン開催予定

今年のフィットネスホットライン(FHL)は11月23日(金・祝)～25日(日)、大阪門真市の「なみはやドーム」で行われます。インストラクターの皆さまに役立つ約50講座があり、多くが各種資格の登録更新講習になっています。クラブスタッフの皆さまへお知らせくださいますようお願いいたします。

WEBからのお申込み→ <http://www.fitness-hot-line.com/>

電話からのお申込み→ 077-510-2527

■ 『SPORTEC』開催予定

『SPORTEC(スポルテック)2012(スポーツサイエンステクノロジー展)』は、11月21日(水)～23日(金・祝)東京ビッグサイトにて行われます。フィットネス・各種スポーツ分野など230の展示と100の講座などがあります。講座のうち約7割は各種資格の登録更新講習になっています。また今年は『リハビリテーションEXPO』『ヘルスフード・サプリメントEXPO』も同時に行われます。フィットネスと周辺ビジネスの総合展として、幹部およびスタッフの皆さまの吸収の場としてご活用ください。催事の内容は同展HPよりご覧ください。

HP: <http://www.sports-st.com/>

<SPORTEC出展企業例>

スポーツ・健康産業に関わる有力企業230社が一堂に出展。

・スポーツ用品(シューズ、ウェア、サポーター、各種ギア、他)

・学校体育用品(ネット、体育設備、指導教育プログラム、他)

- ・トレーニングマシン
- ・体力測定機・計測器・体組成計
- ・ダイエット関連機器・用品・食品
- ・スポーツ施設向け製品(ロッカー設備、ITシステム、他)
- ・リハビリテーション機器(治療器、マッサージ機器、他)
- ・エクササイズプログラム(キッズ、シニア、ダイエット、他)
- ・ヘルスフード(健康食品・飲料、機能性食品・素材、他)
- ・サプリメント
- ・スポーツ団体・研究機関・大学・出版社

<講師>

多彩な講師陣でおくる100セッション以上のセミナー・実技講習会・グループエクササイズ。

- ・東京大学大学院 生命環境科学系教授 石井直方氏
- ・(有)スポーツモチベーション 代表取締役
中野ジェームズ修一氏
- ・(株)R-body project 代表取締役 鈴木 岳氏
- ・TRF SAM氏
- ・チョン ダヨン氏 他

<イベント例>

- ～21日(水)開催～
- ・出展社・VIP来場者・業界関係者のための交流会
『レセプションパーティー』
- ～22日(木)開催～
- ・踊って、飲んで楽しむチャリティーイベント
『Dance Party for the SPORTEC Charity』
- ・TRF SAM氏が直接指導
『HIP HOPダンス講座』
- ～23日(金)開催～
- ・パリの世界大会へ行こう! ダンスエアロのスキルコンテスト
『ROOKIE CONTEST 2012』
- ・フィットネス業界最大級のファッションショー
『Fitness Girls Collection 2012』
- ・日本初! 男のかっこいいカラダコンテスト
『Best Body Japan 2012』
- ・ピラティスイベント
『ピラティスフェスタ 2012』
- ～その他～
- ・トレーナー・インストラクター講習会
『コアトレフェスタ 2012(仮称)』

※イベントの内容、スケジュール、講師は変更になる場合があります。最新情報は公式HPをご覧ください。主催者へお問い合わせください。

SPORTEC公式HP: www.sports-st.com

TEL: 03-6273-0403

Member's Board

会員掲示板

◆株式会社K・プレイズン(賛助会員)◆ ～こだわりの高濃度還元水素水のご紹介～



水素は、悪玉活性酸素を撃退する働きがあるとして大変注目を集めています。水素水とは、その水素分子を豊富に含んだ水のことをいいます。

弊社の『プラス水素水』には、厳選した立山連峰のミネラルを豊富に含んだ水が使用されています。また、水の粒子をナノレベルまで細かくしているため、水に水素が入り込みやすく水素容量が高く、身体への吸収率も高いのが特徴です。独自の技術と製法で高濃度水素を閉じ込めました。さらに水に溶けた高濃度水素を長時間、安定して保持することを可能にしています。

容器はフレッシュさを保つアルミパウチで、日常生活はもちろん、外出先やスポーツシーンなど、運動の合間にも気軽に愛飲できます。また、米国財団法人野口医学研究所の品質推奨品なので、安心してお飲みいただけます。疲労回復やアンチエイジングを目指すお客さま向けに、ぜひクラブでのお取り扱いをご検討ください。

『プラス水素水』

1パック(330ml) 294円(税込)

5パックセット 1,470円(税込)

24パックセット 7,056円(税込)

※別途送料がかかります。

<お問い合わせ先>

株式会社K・プレイズン 水素水事業部

所在地: 東京都渋谷区桜丘町26-1 15F

連絡先: 03-6427-0095

HP: <http://k-praisenzon.co.jp>

Member's Board

会員掲示板

◆エタニ産業株式会社(賛助会員)◆
 ~プール水質浄化剤《アクアピル》のご提案~
 日本学校保健会推薦商品!!

【水質浄化剤アクアピルシリーズ】



プールの水質や管理でお悩みでしたらお気軽に無料サンプルをお試ください。

- 透明度が低い。 ●透明度回復に時間がかかる。
- 藻が発生してしまう。 ●塩素臭が強く、目が痛い。
- 逆洗や補給水が多く、水道コストを削減したい。
- 塩素ガス発生という危険負担を減らしたい。
- 凝集剤注入装置のメンテナンスに手間をかけたくない。

【残留塩素測定器及び試薬】

チェックキット

DPD試薬

- 低価格高品質
- プール用・風呂用
- 錠剤100錠入・250錠入
- 粉末100包入り

※DPD試薬の無料サンプルもご紹介します。



<お問い合わせ先>

発売元:エタニ産業株式会社

担当:営業部 海田

所在地:東京都目黒区柿の木坂1-5-1

TEL.03-5701-7272 FAX.03-5701-7575

HP: <http://www.etanisan.co.jp>

New Clubs

出店情報

10月のオープンクラブ

24hフィットネス ジョイフィット麻布十番

所在地:東京都港区麻布十番2-10-3

マイスクエアビル2F

TEL:03-6459-4040

24hフィットネス ジョイフィット神楽坂

所在地:東京都新宿区神楽坂5丁目24番

タイヨウビル3F

TEL:03-6265-0922

24hフィットネス ジョイフィット代官山

所在地:東京都渋谷区代官山町20-9

サザン代官山B1F

TEL:03-6416-9903

Fitness Lounge THE JEXER TOKYO

所在地:東京都千代田区丸の内1-9-1

東京ステーションホテル B1F

TEL:03-5220-1111(東京ステーションホテル) ●FIA会員

THE☆STAGE 港北

所在地:神奈川県横浜市都筑区中川中央1-31-1

モザイクモール港北6階

TEL:045-914-3109

●FIA会員

ドゥミ ルネサンス 高田馬場

所在地:東京都新宿区高田馬場1-33-13

千年ビル3F

TEL:03-5287-2570

●FIA会員

Curves大宮七里

所在地:埼玉県さいたま市見沼区大谷1783 2F

TEL:048-688-1515

Curves大田パル

所在地:島根県大田市大田町大田イ411番地

TEL:0854-84-5030

Curvesサンリブ朝日ヶ丘

所在地:福岡県北九州市小倉北区朝日ヶ丘3-18 2階

TEL:093-591-6077

Curves綾部

所在地:京都府綾部市川糸町南古屋敷20

TEL:0773-43-2323

Curves三軒茶屋

所在地:東京都世田谷区太子堂4-3-2
DS三軒茶屋ビル6階
TEL:03-3795-7770

Curves浜松早出町

所在地:静岡県浜松市中区早出町1207-37
TEL:053-443-7080

Curvesデリシア大町

所在地:長野県大町市大字大町3109-1
デリシア大町駅前店2F
TEL:0261-23-4230

Curves茨木春日

所在地:大阪府茨木市春日2丁目2番12号
茨木セントラルビル2F
TEL:072-631-1232

Curves熊本本山

所在地:熊本県熊本市中央区本山町143-1
モトヤマプラザ2F
TEL:096-363-8060

Curves古河本町

所在地:茨城県古河市本町1-2-1
TEL:0280-23-3401

Curves平和堂あどがわ

所在地:滋賀県高島市安曇川町西万木55番地
平和堂あどがわ内
TEL:0740-32-6100

Curvesダイエー谷山

所在地:鹿児島県鹿児島市南栄5-10-51
TEL:099-267-0619

Curvesセンターみなみ

所在地:神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央17-26
ビクトリアセンター南 401・402
TEL:045-944-2202

Curves丸太町常盤

所在地:京都府京都市右京区太秦北路町25-1
TEL:075-366-8663

Curves菊水駅前

所在地:北海道札幌市白石区菊水2条2丁目2-12
藤井ビル菊水IV4F
TEL:011-817-2266

Curves東光ストアあいの里

所在地:北海道札幌市北区あいの里1条5丁目2-3
TEL:011-778-3001

Curves今城塚古墳前

所在地:大阪府高槻市岡本町41番1号
TEL:072-668-2541

Curvesパルティせと

所在地:愛知県瀬戸市栄町45番地
TEL:0561-65-5770

Curves大東サンメイツイズミヤ

所在地:大阪府大東市住道2丁目1番103号
大東サンメイツ1番館イズミヤ5F
TEL:072-806-2222

Issue**記事****ルネサンス、建築士事務所を開設、施設改修をコンサル**

フィットネスクラブ大手のルネサンスは建築士事務所を開き、地方のフィットネス施設の改修工事などに関するコンサルティングを始めた。老朽化で改修時期を迎える施設が増え、ニーズが高まると判断した。

(2012.9.12 日経MJ)

大和ハウス系NAS、直営エステ80店

大和ハウス工業グループのフィットネスクラブ運営会社、スポーツクラブNAS(東京・江東)は2015年3月期までに直営エステティックサロンの路面店を約80店開く。投資額は約10億円。1回30分程度で約3千円という気軽に利用できるサービスを中心に提供し、年間売上高約20億円の事業に育てる。エステ利用を足がかりに、若い女性をフィットネス会員に取り込む狙いもある。

(2012.9.13 日本経済)